



artience Co., Ltd.



採用HP

<https://www.artiencegroup.com/ja/recruit/>

プロジェクトストーリーや社員インタビューなど、
様々なコンテンツで

artienceを紹介しています。ぜひご覧ください！



バイオマス
No.180062

このパンフレットは
東洋インキ(株)製の
UV硬化型オフセットインキ
FLASH DRY® LPC BIOで
印刷しています。

artience

問いから
はじまるartience

artience recruiting guide

Q. どんな特徴がある会社だろう？

A.01

「色」・「樹脂」を必要とするすべての業界が事業フィールド

みなさんは顔料と樹脂についてご存知でしょうか。簡単に言うと顔料は「色をつける」素材、樹脂は「機能をつける」素材です。artienceは、この2つのコア素材を活用し、自動車、エレクトロニクス、パッケージなど、生活の身近な製品をはじめ、幅広いフィールドで社会に役立つ製品を数多く作っている化学メーカーです。

コア素材



幅広いフィールドに活用



エレクトロニクス業界/エネルギー業界/自動車業界/食品業界/
化粧品業界/印刷業界/メディカル業界/ヘルスケア業界など

A.02

世界24カ国以上で

モノづくり企業であるartienceは、製品・サービスを通じて社会に価値を提供しています。事業は日本国内だけに留まらず、海外売上高比率は年々上昇しており、北米・欧州・アジアを中心に、市場ニーズにマッチする製品開発に取り組んでいます。

グローバルな事業活動を展開

海外売上高比率

事業展開

50%超 24カ国

artienceのグローバル市場への本格的な参入は、1960年代にまで遡ります。国内市場での成長と並行して、中国や東南アジアへの製品輸出を本格化すべく、1961年に香港に海外駐在員事務所を開設。1963年には香港にインターケミカル社との合併で戦後初の海外子会社を設立し、シンガポールとマレーシアに拠点を築きました。以降も新興国市場を中心に展開するとともに、地産地消を基本としたグローバル供給体制の構築を進めています。

A.03

1896年に創業したゆまぬ技術研鑽とチャレンジを続けてきた歴史

start

1896



[1910年頃]
設立当初の
東洋インキ製造株式会社
本社



[明治40年頃]
富久町工場の様子

202X

2024年1月 artienceに社名変更

インキ会社から
化学メーカーへ



自社技術主導による
新市場への展開

サステナブル
社会実現への
チャレンジ



A.04

グループ企業によるバランスの取れたポートフォリオ

artienceの事業活動は、「色材・機能材関連事業」「ポリマー・塗加工関連事業」「パッケージ関連事業」「印刷・情報関連事業」の4つのセグメントで構成されており、東洋インキ、トーヨーケム、トーヨーカラーの3つの中核事業会社を中心に、グループ各社がグローバルに事業活動を展開しています。

印刷・情報
関連事業

色材・機能材
関連事業

artience

パッケージ
関連事業

ポリマー・塗加工
関連事業

Q. どんな強みがあるんだろう？

A. 新しい可能性 コア素材×コア技術で生まれる

コア素材



顔料

私たちの身の回りには、美しい色を帯びているものがたくさんあります。その着色に用いられているのが「色材」です。色材の内、「顔料」は水や油に溶けず、バインダー（樹脂）などを加えて面に塗ることによって色が定着します。



樹脂 (ポリマー)

artienceでは、樹脂（ポリマー）を素に、時代のニーズに合わせた様々な製品を生み出しています。合成や塗加工の技術を生かし、日々の生活に欠かせない用途に数多くの機能性製品が採用されています。



コア技術

色材設計技術

当社グループの原点の一つである有機顔料の合成技術を用いて、可視光だけでなく紫外・近赤外領域を含めた波長制御が可能な素材の開発を行っています。

ポリマー設計技術

当社グループ製品の多くに「モノマーを重合してポリマーにする」技術が使われています。一次・二次構造のデザインを行うことで、最終的にポリマーが膜を形成した時の性能を高いレベルで達成します。

分散技術

分散とは、1個あたりの大きさが数 μm ～数 nm の微細な粒子（フィラー）を、液体や固体中（分散媒体）に均一にバラバラに分布させることです。当社グループは、フィラーや分散媒体に合わせて特殊な分散剤や分散樹脂（ポリマー）を設計し、目的に合わせた任意の粒子径の分散体を作製する技術を保有しています。

塗加工技術

基材に製膜するだけでなく、ポリマーを膜にするキャスト技術、異物・欠点管理、膜厚のコントロール、パターニング塗工、ドライエッチ加工、機能層の積層・多層化などが可能な精密塗加工技術を保有しています。

生まれる可能性



※シェアは当社調べ

Q. どんな仕事があるんだろう？

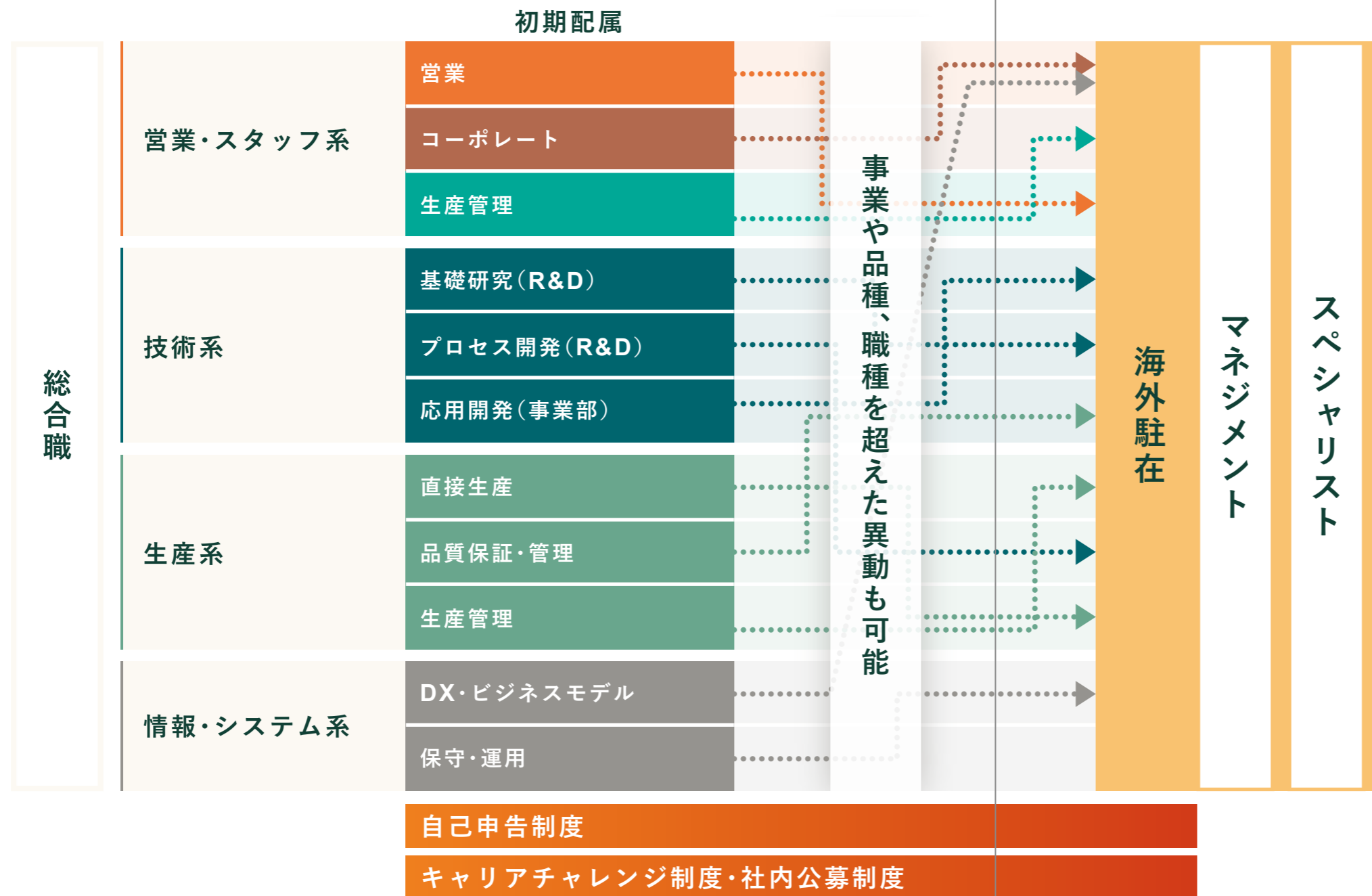
A.

多種多様なフィールドが広がっています



Q. どんなキャリアが歩めるんだろう？

A.
**やりたいことにチャレンジできる
 多様なキャリアルートをご用意しています**



artienceでは、個々の適性や伸ばしたいスキル、キャリアプランが実現できるよう、豊富なキャリアルートを用意しています。実際に、各職種（営業・技術・生産・情報）に初期配属された後も、事業会社や職種を超えた異動は数多くあり、そのための制度（自己申告・キャリアチャレンジ制度・社内公募制度）も整備しています。キャリアや成長に関する制度には、社会課題やニーズが複雑化・多様化しつつける今の時代に適応していくために、より広い視野で物事を考えられるような人材になって欲しいという、私たちの想いも込められています。将来的にはスペシャリストとして専門性、マネージャーとしてマネジメントスキルを磨く、海外駐在を目指す、といった道がartienceには拓いています。

pick up

キャリアチャレンジ制度

各社員が主体となり自ら希望する部門へ応募ができ、やりたい仕事にチャレンジできる制度です。
 ※国内のすべての部門への応募が可能です。

■制度設立背景・目的

以前は社内公募制度のみでしたが、2022年度からキャリアチャレンジ制度がスタートしました。社会ニーズに対する価値創造が従来にも増して重要になってきており、ヒト・組織の観点では社員一人ひとりが目標にコミットメントし、新たな領域へチャレンジしていくことや高い専門性を持つことが求められています。一方で、従来の社内公募制度では応募が特定の部門にのみ限られていたため、社員が幅広いキャリアを選択できないといった課題がありました。国内すべての部門への応募を可能とすることで、部門を超えた異動を活発化させ、新たな知見・発想の融合によるイノベーション創出、特定領域におけるスペシャリスト人材を育成してまいります。

pick up

自己申告制度

年に一度、今後のキャリアビジョンや異動希望を、所属する部門の上司を通さずに直接人事部に提出することができます。

■実施目的

社員の担当職務や職場環境、将来に関する考えを把握し、各種人事施策に活用します。アンケート形式で社員の満足度（仕事・職場・会社）や仕事量、やりがいなどについて定量的に調査をしています。異動希望（希望先部門や勤務地、職種など）も質問項目にあり、参考にしながら配置転換の検討を行っています。

Q. どんな人と働けるんだろう？

